

一般社団法人 日本言語聴覚士協会総会・第14回日本言語聴覚学会のご案内

大会テーマ 言語聴覚療法の可能性

平成25年6月28日(金)、6月29日(土)の両日、札幌市のさっぽろ芸文館(旧北海道厚生年金会館)において第14回日本言語聴覚学会を開催いたします。大会テーマは「言語聴覚療法の可能性」といたしました。

言語聴覚の対象領域は、言語障害・聴覚障害・認知症・発達障害・嚥下障害など広範囲にわたります。近年、医療・福祉情勢や社会情勢の変化とともに、言語聴覚療法が果たすべき役割はさらに広くより深くなっています。では、私たち言語聴覚士は何を患者様や社会に提供できているのでしょうか？ 本学会では、私たち言語聴覚士が今できること、そして今後取り組まなければならないことを再確認するだけでなく、新たな視点から言語聴覚療法の可能性を探っていきたいと考えています。特に、今までの学会で取り上げられることのなかったST領域の開業をテーマにシンポジウムを計画いたしました。言語聴覚療法の可能性を考える一助になると思います。また、第一線で活躍している言語聴覚士を講師に迎え、アドバンスセミナーを開催いたします。さらにステップアップしていけるような内容にしたいと考えています。

皆様が有意義な時間を過ごすことができるように準備を進めています。また、学会の合間には北海道観光もお楽しみいただけます。たくさんの皆様がご参加くださいますようお願い申し上げます。

会 期：平成25年6月28日(金)、6月29日(土)

会 場：さっぽろ芸文館(旧北海道厚生年金会館)

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西12丁目

会 長：小橋 透(北海道言語聴覚士会 会長)

学会ホームページ：<http://www.c-work.co.jp/jaslth2013/>

参加費：事前登録(会員・準会員：10,000円 非会員：13,000円)

当日登録(会員・準会員：11,000円 非会員：14,000円)

学生：5,000円

*当日の受付混雑を回避するために事前登録にご協力下さい。

*事前登録は上記HPにて2月中旬から開始いたします。

*当日受付の方は参加費を納入の上、名札(領収書兼参加証)をお受け取り下さい。なお、この参加証は生涯学習プログラムの修了証申請の際に必要になりますので、紛失しないよう保管してください。

*学生参加者は、学生証をご提示ください。

(裏につづく)

【予定企画プログラム】

- 特別講演：脳損傷からみる言葉のしくみ
大槻美佳(北海道大学大学院保健科学研究院)
- 教育講演 1：言語を生み出す人間の脳
酒井邦喜(東京大学大学院総合文化研究所)
- 教育講演 2：吃音の評価と治療
長澤泰子(NPO 法人子供の発達療育研究所顧問)
- 教育講演 3：日常生活の中の神経学—やさしいそして面白い神経学—
田代邦雄(北海道大学名誉教授)
- シンポジウム 1：ST 領域の開業
- シンポジウム 2：摂食嚥下のトピッカーいつまでもおいしく食べるために—
医師・言語聴覚士・栄養士の立場から
- ワークショップ 1：感情とリハビリテーション
- ワークショップ 2：北海道の訪問リハビリテーションを伝えよう(会員企画)
- ワークショップ 3：認定 ST のつどい(協会主催)
- アドバンスセミナー 1：発達障害の臨床
石田宏代(中川の郷 療育センター)
- アドバンスセミナー 2：聴覚障害の臨床
能登谷昌子(金沢大学医薬保健研究域保健学系)
- アドバンスセミナー 3：高次脳機能障害の臨床
佐藤睦子(総合南東北病院神経心理学研究部門)
- アドバンスセミナー 4：構音障害の臨床
椎名英貴(森之宮病院リハビリテーション部)
- アドバンスセミナー 5：音声障害の臨床
城本 修(県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科)

* 学会翌日の 6 月 30 日(日)に生涯学習プログラムの基礎講座と専門講座を北海道大学学術
交流会館で開催します。詳細は協会ホームページ(<http://www.jasht.or.jp/>)でお知らせ
いたします。

【事務局】

〒063-0062 北海道札幌市西区西町南 20 丁目 1-30
医療法人明日佳 高橋脳神経外科病院 担当：簀 貴代美
TEL：011(664)7111/FAX：011(664)7649
e-mail：jasht2013@c-work.co.jp